



病院だより

第 12 号

新城市市民病院広報委員会

新城市字北畑 3 2 - 1

Tel 0536-23-7852 (総務課)

Fax 0536-22-2850

なぜ・感染症に気を付けましょう

今年は 1 ヶ月ほど冬の到来が早いようで、朝晩の冷え込みが厳しくなっています。寒暖の差が大きいほど紅葉はきれいに色づくといわれ、山間の観光地などでは多くの観光客が訪れているようですが、この寒暖の差は健康な人でもちょっとした油断で風邪などにかかるため注意が必要です。

風邪は、くしゃみ、鼻水、せき、のどの痛みなど不快な症状でつらいというだけでなく、慢性的な病気がある方などは、風邪に誘発されて症状が悪化することがあります。

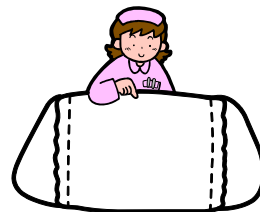
「季節の変わり目だから風邪くらい・・・」なんて軽く考えず、風邪にはかからない、風邪をひいても感染させないことが大切です。

病院はこの時期、風邪や感染症、インフルエンザなどにかかった患者さんが多く受診されます。

ご自身が外来受診されるときはもちろん、入院患者さんのお見舞いで病院を訪れる方



も必ずマスクをかけ、手指の消毒を行ってください。風邪や感染症が流行しているときは、院内での感染を防ぐため、お子様連れのお見舞いの方や、風邪の症状がある方はお見舞いをご遠慮していただきますので御協力ください。



例年、この時期から流行する感染症として、「ウイルス性胃腸炎」や「インフルエンザ」があります。どちらの感染症も高齢者や小児に多くみられます。

東三河地区でもこれら 2 つの感染症について流行の兆しが出始めています。

風邪の症状を訴えたとき、特に嘔吐、下痢や腹痛が強いものは「ウイルス性胃腸炎」、一般の風邪に比べ熱が高く、重症感の強い場合は「インフルエンザ」の可能性があります。特にインフルエンザでは抗ウイルス剤が存在し、服用が効果的な場合があります。



今月の出前・健康講座

綿引院長 in 富沢公民館

11月20日(火) 13時〜

院長の講座はいつも「わかりやすい」「ためになる」と毎回好評を博しています。他の地区で行われた出前講座の評判を聞きつけて「是非うちの地区でも！」と申込みが絶えません。



山本看護師 in 新城市老人福祉センター

11月21日(水) 10時〜

看護師の山本運営副課長が講師として前立腺に関わる病気について講話をしました。手術室の看護師として手術の内容やどんな症状に注意が必要かを丁寧に伝えました。



外来通信

このコーナーでは、当院の外来医療部からの情報をお届けします。

今回は外来治療室から「抗がん剤治療について」と神経内科から「認知症のご相談」についてです。

外来治療室から



がん治療とは？



抗がん剤治療について

☆ 各種ガイドラインに従った治療方針で
安心・安全な方法で行います。

☆ ご希望、治療方針などにより入院治療または通院治療を選択できます。

☆ 通院治療は専門の部屋で行っています。

外来治療室では

点滴治療中、少しでも楽しい空間作りを心がけ、また、楽しいことだけでなくつらい気持ちも分かち合える看護に努めています。



外来治療室のスタッフ



がん専門薬剤師
丸山 昌広



治療中に絵手紙教室も



個室での治療もできます

がん専門薬剤師、NST（栄養サポートチーム）専門薬剤師による「がん治療・痛み・栄養」に関する相談も受け付けています。

※ お問い合わせは消化器外科外来までお願いします。



「物忘れ」「認知症」 私たちに「ご相談ください」

物忘れ・・・誰もが経験したことがあると思います。

「誰かの名前が出てこない」「今何やるかとしたんだっけ?」・・・これらは単に加齢によるものだから仕方ないと考えられる方も多くいらっしやいます。しかし、これが頻繁に起き、御家族から見ても心配という方は専門医の受診をお勧めします。

当院の神経内科（祖父江医師・石原医師）では毎日外来診察を行っています。精度の高いMRI画像により診断し、薬による治療を行います。

認知症は早期発見・早期治療が重要です。

初期の段階で御家族の方が気づいてあげること、また、認知症の患者さんに対する御家族の接し方も重要となります。

まずは私たち外来看護師にご相談ください。

外来医療部運営課長

山本ひろみ